

江藤建設工業が30周年 匠の技で社会貢献を



鏡割りでさらなる発展を祈念する関係者
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

創業30周年の節目を迎えた(株)江藤建設工業。曳き家移転に始まり、解体業、土木、地盤改良、社寺建築などへと営業展開を図り、県内外から約340人が出席して、その功績を称えた。7月31日開催された記念式典では、県内外から約340人が出席して、その功績を称えた。同社を語る上で欠かせないのが、たぐいまれな技術力の高さであろう。江藤正幸社長は「技術の研さんに励み、地域のオンリーワンに」と決意を語る。さらなる高みを目指し、匠の技で社会貢献を果たしてほしい。

鹿児島市の城山観光ホテルで「創立30周年記念式典および祝賀会」が開催され、前衆議院議員の宮路和明氏をはじめ全国江藤社長が「日本の伝統橋博治会長ら業界関係者など多くの来賓が出席。地球環境を最優先に、伝統や技術継承に取り組む」と決意を語る。さらなる高みを目指し、匠の技で社会貢献を果たしてほしい。

30周年を記念し寄付 地域から感謝状贈呈

引き続き、永年勤続表彰や協力会社への感謝状贈呈など各種表彰が行われたほか、県や鹿児島市社会福祉協議会、愛の福祉基金への寄付金贈呈も行われた。

また、江藤建設工業グループと同社安全協力会が、平成10年から毎年実施している中迫共同墓地の清掃活動に感謝し、小野一丁目中迫町内会の赤澤耕一会長から江藤社長に感謝状が贈られた。写真。同活動は、高齢化に伴い墓の清掃作業がままならない同地域への恩返しとして毎回、社員を含め100人を超える参加者が墓地周辺の雑草除



去などの清掃作業に取り組んでいる。

また、県建設業協会の川畑俊彦会長が「貴社の『古き良き物』を後世に残す」と

江藤社長を中心に関係者による鏡割りが行われ、掛け声とともに二つの樽が一緒に割られ、同社のさらなる発展を出席者全員で心から祈念した。表彰は次の通り。

永年勤続社員：鮫島和夫(28年) 橋本栄(23年) 協蔵(同)▽感謝状：福元内装表具店(福元学) 川元板金(川元勝己)▽功労賞：徳永憲治(株)江藤建設工業安全協力会初代会長) 山添若夫(同第

昭和54年7月	(前)藤総業にて法人設立(30日)
昭和55年8月	鹿児島県知事 建設業許可取得
昭和56年2月	(前)藤総業より(株)江藤建設工業へ名称変更
昭和61年7月	(前)江藤建設工業より(株)江藤建設工業へ組織変更
平成5年7月	製造会社 (南)南日本都市造園を設立(20日)
平成9年7月	江藤建設工業リサイクルセンターを設立
平成13年2月	関連会社 (南)エコプランを設立(20日)
平成15年3月	関連会社 (南)南日本都市造園(株)アースクリエイトへ名称変更(27日)
平成15年10月	ISO9001、ISO14001同時取得
平成17年1月	国土交通省 地盤調査業務許可の登録
平成17年3月	環境省 土壌汚染調査機関の指定を受ける
平成18年3月	(株)江藤建設工業 熊本営業所を設置
平成18年6月	(株)江藤建設工業 宮崎営業所を設置
平成19年4月	福岡営業所を購入、福岡支店へ昇格する
平成20年4月	私算債(鹿児島銀行引受による)を1億円発行
	(株)江藤建設工業 大分営業所を設置
	増資4,905万円から6,000万円へ

SINCE 1979

30

The 30th anniversary of establishment

30周年を迎えて

代表取締役 江藤 正幸

会社を設立した昭和54年、私は30才、社員3名、臨時職員2名というスタートで江藤建設工業は誕生しました。以来、30年という歳月が過ぎ、我が社もようやく地域に根差した企業の末席に名を列ね、一員となれたように思えるこの頃です。こうして30年間の長い間、また、西日本一円で仕事ができただけのも、ひとえに今まで温かく支えてくださいました、多くの皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

振り返りますと、設立当初は、家屋移転工事のみで生業を立てていたものの、世の変遷とともに、解体業(建築、土木、地盤調査、地盤改良、社寺建築と、年を追うごとに業容を次第に拡大してまいりました。何となく30周年という大きな節目の年を迎えるに至りました。

私自身は、これからは先人からの贈りもの「古き良きもの」を未来の人々に受け継ぎ、という重要な使命を担う仕事に就かれた時間を過ごしたいとも思います。そして、社業の発展による永遠の存続と、地域社会への貢献を目的として、技術の研鑽を積み、より多くの努力を怠ることなく、限りなく地域のオンリーワンを目指したいと思っております。

なにとぞ、今後も一層の支援、ご鞭撻をくださいますように、心からお願ひ致します。